【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第５区分
【発行日】平成26年2月20日(2014.2.20)

【公開番号】特開2013-100036(P2013-100036A)
【公開日】平成25年5月23日(2013.5.23)
【年通号数】公開・登録公報2013-026
【出願番号】特願2011-245195(P2011-245195)
【国際特許分類】
Ｂ６２Ｄ　55/253　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６２Ｄ　55/253　Ｅ

【手続補正書】
【提出日】平成26年1月6日(2014.1.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
車台と、
上記車台の前後の左右の両側にそれぞれ設けられた４個の車輪と、
左右それぞれの上記前後車輪に巻き掛けられ上記各車輪の駆動力により駆動される帯状のクローラとを備えたクローラ走行装置において、
上記クローラは、外側に突出するクローラ外歯を複数個有し、
上記前後車輪間の下方側には、上記クローラの回転周方向の撓みを防止する転輪と、
上記車輪の外径より外形が大きく、かつ、上記各クローラ外歯の外径より外形が小さく、上記車輪の側面の内側および外側、かつ、上記前後車輪間の内側および外側を覆う内側カバーおよび外側カバーとを有し、
上記前後車輪および上記前後車輪間は、上記内側カバー、上記外側カバー、および上記クローラにより６方向が囲まれていることを特徴とするクローラ走行装置。
【請求項２】
上記外側カバーには、上記車輪の中心位置より上方位置に外部に開口する開口部を有し、
上記内側カバーおよび上記外側カバー間には、上記車輪側から上記開口部に通じる通路が形成され、
上記通路は、上記開口部に至るほど低くなることを特徴とする請求項１に記載のクローラ走行装置。
【請求項３】
上記内側カバーまたは上記外側カバーの少なくともいずれか一方には、上記前後車輪間位置に圧縮気体導入部が形成され、
上記内側カバーおよび上記外側カバー間には、上記圧縮気体導入部から導入される圧縮気体が上記車輪下部から上記車輪外周を通り上記通路に至る経路が形成されていることを特徴とする請求項２に記載のクローラ走行装置。
【請求項４】
上記内側カバーおよび上記外側カバー間には、上記車輪から落下する異物を上記通路に導くスクレーパを備え、
上記スクレーパは、上記車輪に対して設置角度変更可能に形成されていることを特徴とする請求項２または請求項３に記載のクローラ走行装置。

【請求項５】
外部または内部から圧縮気体を上記圧縮気体導入部に導入する圧縮気体貯蔵部を備えたことを特徴とする請求項３に記載のクローラ走行装置。
【請求項６】
請求項３または請求項５に記載のクローラ走行装置の清掃装置は、
上記クローラおよび上記クローラ外歯を接地面から離反される離反手段と、
上記圧縮気体導入部から圧縮気体を導入しながら上記クローラを空走させる制御部とを備えたことを特徴とするクローラ走行装置の清掃装置。